

熊本高等専門学校	開講年度	令和04年度(2022年度)	授業科目	知能情報処理
科目基礎情報				
科目番号	AE1116	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	電子情報システム工学専攻	対象学年	専1	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	参考図書: 深層学習 (MLP機械学習プロフェッショナルシリーズ), 岡谷貴之, 講談社/ Webclass上の資料/ゼロから作るDeep Learning, 斎藤 康毅, O'REILLY			
担当教員	新谷 洋人			
到達目標				
1. ニューラルネットワークの仕組みを理解し、説明できる 2. ニューラルネットワークをpythonでプログラミングできる 3. 種々のデータを機械学習に応用できるよう加工できる				
ループリック				
ニューラルネットワークの仕組みの理解	理想的な到達レベルの目安 最新のニューラルネットワークの研究内容を理解している	標準的な到達レベルの目安 基本的なニューラルネットワークの動作を理解している	未到達レベルの目安 仕組みを理解していない	
pythonプログラミング	必要とする機能をもつプログラムを一から記述することができる	Web等で公開されているプログラムを読み改変できる	プログラムできない	
機械学習のためのデータ加工	ニューラルネットワークが学習をしやすいように考えたデータ加工ができる	データの加工をすることができる	なぜデータの加工が必要なのかを理解していない	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	ニューラルネットワークとこれを多層化した深層学習は、これからの時代において必須技術であるといえる。この授業ではこれらの技術を利用するため知っておくべき最低限の内容について学習する			
授業の進め方・方法	スライドと自作資料を使用した講義形式とし、必要に応じて実際にプログラミングをしながら理解を深めてもらう。複数回小テストや演習を行う。最終的に各自で用意した問題をニューラルネットワークを利用して解決してもらい、これに基づいて評価を行う			
注意点	試験はおこなわざ成果物と小テスト、レポート、グループワークの内容により評価します。評価に対してそれぞれの割合が大きいため提出遅れ等しないよう注意すること。グループワークは使用した手法の妥当性と、手法の内容を理解し説明できるかを評価基準とします。また、本科目は2単位の学修科目です。規定授業時間は30時間であり、1単位あたり30時間程度の自学学習が求められます。			
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	
		2週	pythonの基礎(1)	
		3週	pythonの基礎(2)	
		4週	並列コンピューティング	
		5週	誤差逆伝搬法	
		6週	誤差逆伝搬法	
		7週	畳み込みニューラルネットワーク	
		8週	リカレントニューラルネットワーク	
後期	4thQ	9週	深層学習と学習の効率化	
		10週	データの前処理	
		11週	グループワーク	
		12週	グループワーク	
		13週	グループワーク	
		14週	グループワーク	
		15週	レポートの相互評価(1)	
		16週	レポートの相互評価(2)	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル
評価割合				
	小テスト・レポート	グループワーク	合計	
総合評価割合	60	40	100	

基礎的能力	20	0	20
專門的能力	20	20	40
分野橫斷的能力	20	20	40